

令和元年度

# 財務諸表を公表します

●問合せ 総務課 内線 213

総務省より新たに示された統一的基準に基づき、連結ベースで財務書類4表を作成しました。

## ■連結の範囲

本町の一般会計、特別会計、水道事業会計に加え、知多南部衛生組合、知多南部消防組合、知多南部広域環境組合、愛知県後期高齢者医療広域連合を本町の経費負担割合に基づき比例連結しています。(表示単位未満の数値を四捨五入しているため、積み上げ合計と一致しないところがあります)

貸借対照表(バランスシート)とは年度末現在、本町にどれだけの財産があるか、その内訳はどのようなものかを表します。

## 連結貸借対照表(バランスシート) 令和2年3月31日現在

表の左側はプラスの価値である資産、右側はマイナスの価値である負債と正味の財産である純資産を記載しています。

<b>資産</b>	<b>313億8千万円</b>	<b>負債</b>	<b>106億3千万円</b>
町が保有している財産です。すなわち、令和2年度以降の行政サービスに投入できる金額です。		資産を形成するために拠出した金額のうち、町債など将来世代の負担として残っている金額です。	
<b>固定資産</b>	<b>287億7千万円</b>	<b>町債</b>	<b>63億円</b>
町役場、図書館、学校、道路、橋りょう、公園、水道施設、特定目的基金など		<b>退職給付引当金</b>	<b>23億5千万円</b>
		<b>その他(債務等)</b>	<b>19億8千万円</b>
<b>流動資産</b>	<b>26億1千万円</b>	<b>純資産</b>	<b>207億5千万円</b>
<b>現金預金</b>	<b>16億8千万円</b>	資産形成するために拠出した金額のうち、これまでの世代が負担した金額であり、将来返済する必要がないものです。	
<b>財政調整基金</b>	<b>6億9千万円</b>		
<b>その他</b>	<b>2億4千万円</b>		

## 連結資金収支計算書

平成31年4月1日～

令和2年3月31日

性質を3区分で表示し、資金の利用状況や資産獲得状況を表します。



### ・業務活動収支

行政サービスの実施にかかる資金収支

### ・投資活動収支

固定資産の購入や売却にかかる資金収支

### ・財務活動収支

借入や借入返済などにかかる資金収支

A 業務活動収支	4億5千万円
B 投資活動収支	▲ 6億8千万円
C 財務活動収支	2億6千万円
D 本年度資金収支額	3千万円
E 前年度末資金残高	14億7千万円
F 本年度資金残高	15億円
G 本年度末歳計外現金残高	1億8千万円
H 本年度末現金預金残高	16億8千万円

連結貸借対照表に計上されている、資金の増減の内訳を表す計算書です。歳入歳出決算書に類似するもので、町の活動が資金の動きで把握できます。

$$A + B + C = D$$

$$E + D = F$$

$$F + G = H \text{ となります。}$$



1年間の行政サービスが、どのような形でどれだけ行われたかを表します。経常費用から経常収益を差し引いた「純行政コスト」が1年間で町民に提供した正味の行政サービスの額です。

連結貸借対照表（バランスシート）に計上されている「純資産」が、1年間でどのように増減したかを表します。増加分はみなさんの税金や国・県からの補助金、減少分は行政サービスの実施などがあげられます。

### 連結行政コスト計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

令和元年度にどれだけのサービスを提供したか表しています。

### 連結純資産変動計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

純資産の増減は将来サービスに対する蓄えの増減を表しています。

<b>経常費用</b>	<b>136億1千万円</b>
人件費（ヒトにかかるコスト）	20億2千万円
物件費（モノにかかるコスト）	33億2千万円
その他の業務費用（借入金の利子等）	1億4千万円
移転費用（補助金、社会保障給付等）	81億3千万円

<b>経常収益</b>	<b>8億7千万円</b>
業務収益(手数料等の受益者負担)	5億5千万円
業務関連収益(その他収益)	3億2千万円
<b>純経常行政コスト</b>	<b>127億4千万円</b>
臨時損失	5千万円
臨時利益	1千万円

**純行政コスト 127億8千万円**

令和元年度1年間で、町民が町から受けたサービスの金額。

町民1人あたりの行政コストは、587,208円です。（純行政コストを、令和2年3月31日現在の人口21,764人で割った金額）

**平成30年度末残高 211億1千万円**

#### 純資産の増加(1)

純資産を増加させた原因を表しています。

税収等	70億8千万円
国・県等補助金	53億4千万円

#### 純資産の減少(2)

純資産を減少させた原因を表しています。

純行政コスト	127億8千万円
--------	----------

当期変動額 (1)-(2) ▲ 3億6千万円

**令和元年度末残高 207億5千万円**

将来世代のための蓄えがこの1年間で3億6千万円減少しました。

#### 〈町民1人あたりの主なコスト〉

・人件費	9万3千円
・物件費等	15万3千円
・補助金等	5万9千円
・社会保障給付	31万4千円

## ふるさと納税の返礼品を募集します



ふるさと納税の返礼品を取扱う事業者を随時募集しています。ぜひ本町のPRにつながる返礼品をご提案ください。

- ・全国へのPR  
ホームページに貴社のお名前、お礼の品（返礼品）を掲載します。
- ・インターネット販路拡大  
ふるさと納税大手サイトに掲載します。
- ・新規のお客様獲得  
返礼品を気に入っていただければ、新たなお客様の開拓につながります。

●問合せ 総務課 内線213

令和2年度

# 予算執行状況

●問合せ 総務課 内線213

本町では、年に2回（6月と12月）、財政状況を公表しています。みなさまに納めていただいた税金等が、どのように使われているのを知っていただくためのものです。

今回は、令和3年3月31日現在の令和2年度予算執行状況のもので、実際の決算額とは異なります。（表示単位未満の数値を四捨五入しているため、積み上げ合計と一致しないところがあります）

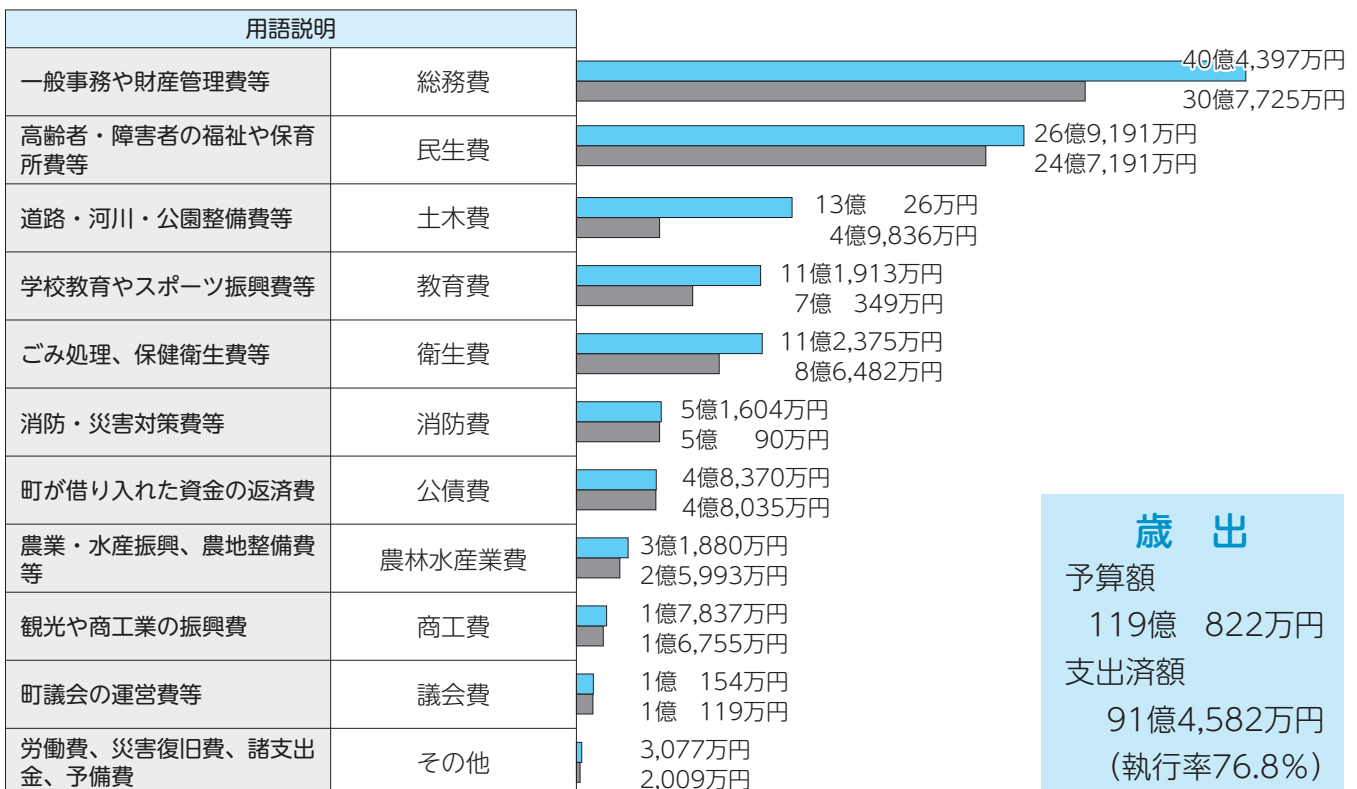
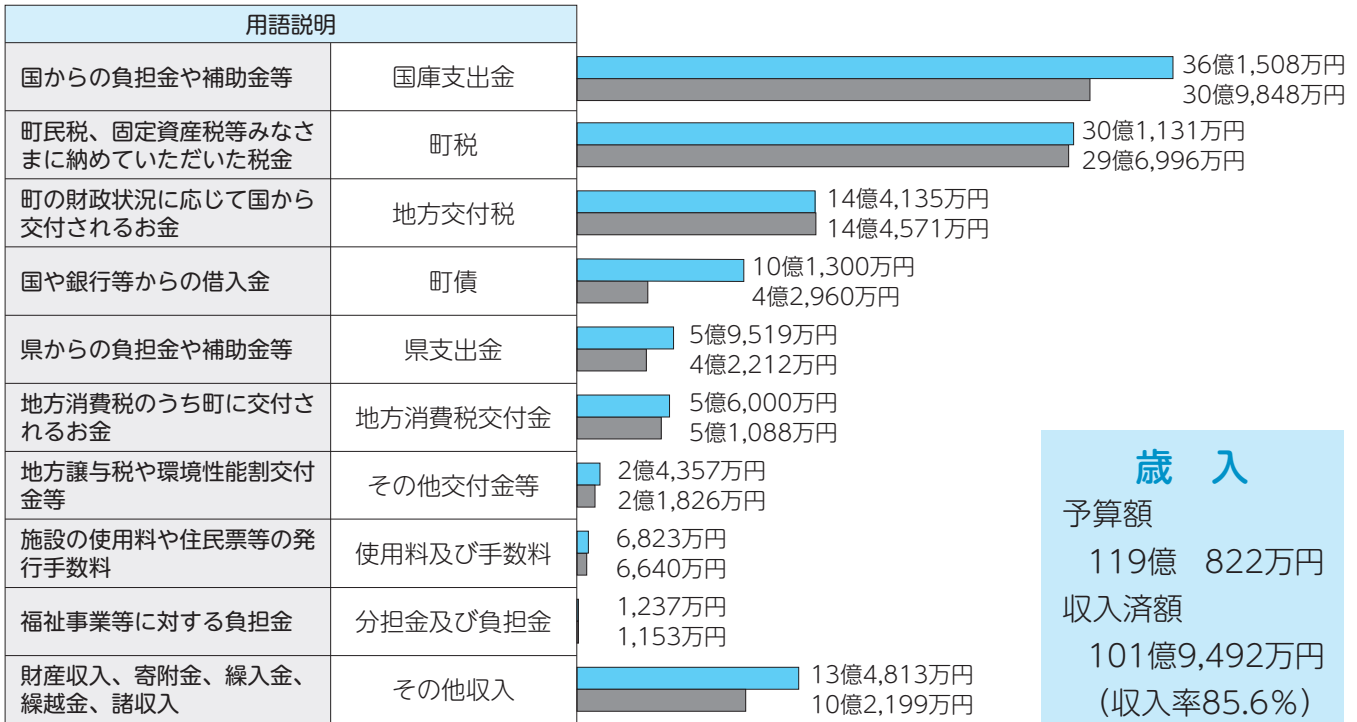
## 一般会計

予算額には令和元年度からの繰越事業に係る繰越額を含みます。

…予算額

…収入済額、支出済額

単位：万円（万円未満四捨五入）



## 特別会計

保険料や使用料等、特定の収入で実施する事業の運営に必要な経費を取り扱います。

区 分	予 算 額	収入済額	支出済額
国民健康保険	23億1,831万円	20億4,759万円	20億6,208万円
後期高齢者医療	3億3,804万円	3億2,732万円	3億1,135万円
介護保険	19億2,789万円	18億1,953万円	16億1,537万円
土地取得	1億9,606万円	1億9,582万円	1億9,572万円
農業集落家庭排水処理施設	3,176万円	2,398万円	2,381万円

## 水道事業会計

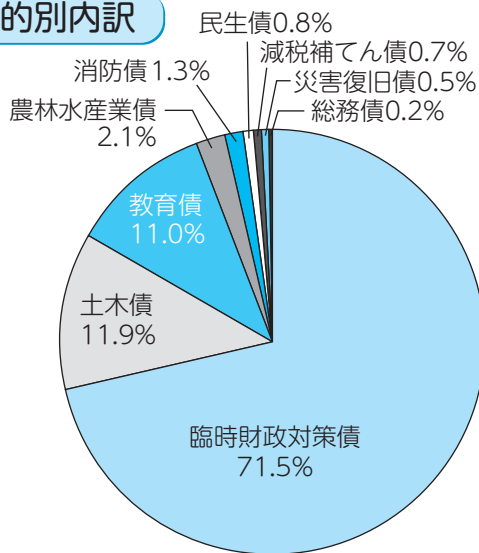
地方公営企業法に基づき指定された事業で、独立採算制の経営方式をとっています。  
令和2年度（令和3年3月31日時点）

区 分		予 算 額	執 行 額
収益的収支	収入	5億 632万円	5億1,931万円
	支出	4億9,323万円	4億5,623万円
資本的収支	収入	1億2,968万円	1億2,920万円
	支出	2億6,384万円	2億5,495万円

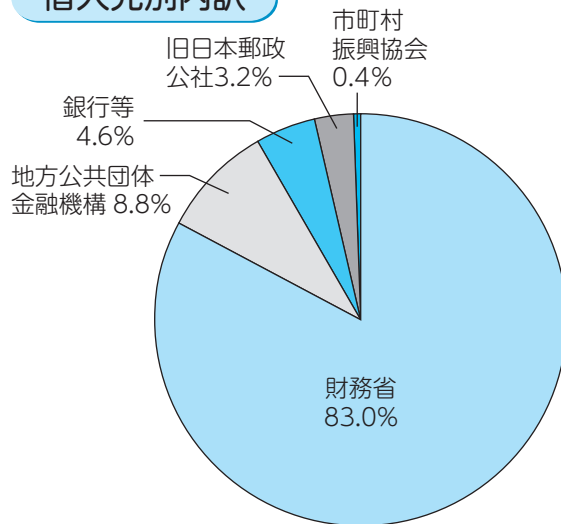
## 町債の状況

現在高 63億3,739万円

### 目的別内訳

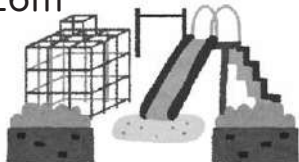


### 借入先別内訳



## 町有財産の状況

土地  
634,626㎡



建物  
89,504㎡



基金  
18億9,327万円

